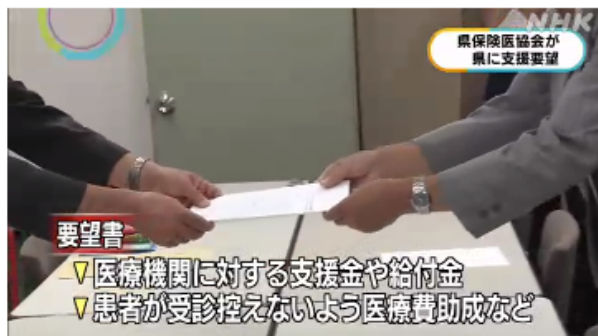


三重 NEWS WEB

県保険医協会が県に支援を要望

07月30日 19時38分



新型コロナウイルスの影響で経営が厳しくなっている医療機関が増えていているとして、県内の開業医などでつくる団体が30日、県に対し、支援を求める要望書を提出しました。

要望書を提出したのは三重県内の医師や歯科医師、1800人余り

で作る三重県保険医協会です。

30日は、三重県保険医協会の宮崎智徳会長らが県庁を訪れ、担当者に支援を求める要望書を提出しました。

要望書では、新型コロナウイルスの影響で患者が受診を控えていて、多くの医療機関の経営が破綻しかねない状況だとして医療機関に対する支援金や給付金といった支援策とともに患者が受診を控えないため医療費の助成など県独自の支援を求めています。

要望に対し、県医療保健総務課の井端清二課長は「厳しい情勢にあることは県としても把握している。要望はしっかりと受け止めたい」と答えていました。

協会によりますと6月、会員を対象にアンケート調査を行ったところ、ことし5月の外来患者の数は医師の66%、歯科医師の92%が前の年の同じ月に比べ減ったと回答し、医療機関の中には経営が厳しくなり、閉院を検討しているところもあるということです。

三重県保険医協会の宮崎智徳会長は「県にも協力してもらって地域でしっかりとした医療を今後も提供していけるようにしていきたい」と話していました。

シェアする ?



三重のニュース

【NHKホームページのスクリーンショット】